



生活と環境

食品表示の質問や相談を受け付けます

食品表示110番をご存じですか

皆さんは、食品を購入する際、何を見て選んでいますか？

産地や原材料などいろいろ

ろなことが気になりますよね。私たち消費者が食品を選ぶ際に、その食品に関する情報を伝えてくれるものが「食品表示」です。



食品表示は、「JAS法」が定めるルールに基づいて表示することが義務付けられています。

一般消費者向けに販売される全ての飲食料品のうち、生鮮食品については「名称」「原産地」など、加工食品については「原材料名」「賞味期限」などを表示す

警察安全情報

高齢者の交通事故防止について

7月31日現在、県内の交通事故死者は57人で、うち高齢者が27人と全体の47.4%を占めています。

高齢者の人は、次のことに注意して交通事故に遭わないようにしましょう。

歩行中の注意点

- ・ 早朝、夕方、夜間の外出を控える。
- ・ 夜光反射材を体の前後、左右、靴のかかとなどに付ける。
- ・ 必ず信号のある交差点や

車両運転中の注意点

- ・ 歩行者や自転車を見落とさないように注意する。
- ・ 交差点では安全確認を徹底し、徐行運転を行う。
- ・ 体調が悪いときや夜間、雨天時は運転を控える。

■問い合わせ先
瀬戸内警察署
☎0869-34-6110

警察安全相談の日

9月11日(土)は警察安全相談の日です。

岡山県警察では、安全で安心して暮らせる地域づくりのために、警察本部、警察署に警察安全相談窓口を設けて、皆さんからの事件・事故の相談を受け付けます。

巧妙化する犯罪から身を守るために相談しましょう。

■問い合わせ・相談先
岡山県警察本部県民応接課
☎086-233-0110
瀬戸内警察署
☎0869-34-6110

ることになっています。

市販されている飲食料品の「おかしいな」と思う表示や、表示に関する質問があれば、「食品表示110番」までお気軽にお問い合わせください。

■問い合わせ先

食品表示110番
☎086-224-9409
中国四国農政局消費・安全部地域第四課
☎086-955-0385
受付時間 午前9時～午後5時 月～金曜日

動物愛護週間関連事業

岡山県動物愛護フェスティバルを開催

9月20日から26日は動物愛護週間です。
岡山県では、動物愛護週間関連事業として、「第6回岡山県動物愛護フェスティバル」を開催します。この機会に動物愛護について考えてみてください。

▽日時 10月31日(日)
午前9時30分～午後3時

▽場所 岡山県動物愛護センター(岡山市北区御津伊田2750番地)

▽内容

- ・ 愛犬と一緒にクイズ&ゲーム
- ・ 家庭犬のしつけ方教室(事前に申し込みが必要)
- ・ キッズお楽しみコーナー
- ・ 軽食・販売コーナーなど

■問い合わせ・申込先

財団法人岡山県動物愛護財団
☎0867-24-3288

廃FRP船はリサイクル！

FRP船とは、FRP(ガラス繊維強化プラスチック)を材料として使用している小型船舶(モーターボート、ヨット、漁船など)のことです。

FRP船を廃船する場合は、登録販売店などに申し込みを行い、料金を支払ってリサイクルする必要があります。

廃FRP船の処理を具体的に進めるのは登録販売店です。登録販売店を調べるには、FRP船リサイクルセンターへお問い合わせください。また、リサイクルに関する費用、見積り、手続きの方法などについても登録販売店にご確認ください。

▷受付期間

9月1日(水)～10月22日(金)

▷受付窓口

■問い合わせ先
FRP船リサイクルセンター
☎03-3567-6929
<http://www.marine-jbia.or.jp/recycle/index.html>

風水害に対する備えを！

台風や大雨などにより、災害が発生しやすいシーズンを迎えています。

災害に強い社会を実現するためには、一人ひとりが防災意識を持ち、防災対策を行う「自助」が重要となります。危機意識を持ち、十分な備えをしておくことが、自分の身を守り、被害を少なくすることにつながります。

日ごろから家庭内で防災について話し合い、防災意識を高めておくとともに、屋根、窓などの点検や懐中電灯、携帯ラジオ、医療品など防災用品を用意しておきましょう。

また、災害が予想されるときは高齢者や子どもに声を掛け、みんなで助け合いましょう。

■問い合わせ先

瀬戸内警察署
☎0869-34-6110

9月1日は防災の日

毎年9月1日は「防災の日」です。

防災の日が定められた理由の一つは、大正12(1923)年9月1日午前11時58分に起きた関東大震災です。関東大震災は、マグニチュード7.9、最大震度7の地震で、南関東一円を中心に、死者・行方不明者数14万人以上、家屋の倒壊・焼失を合わせた被害は80万戸以上にのぼりました。これは、平成7(1995)年1月17日に起きた「阪神・淡路大震災」の死者・行方不明者数が6、437人であったことを考えれば、大変な数字であったことが分かります。



そして、もう一つの理由は9月1日が「二百十日」に当たることが多いからです。「二百十日」とは、季節の移り変わりを的確につかむために設けられた雑節と呼ばれる特別な暦日の

一つで、立春から数えて210日目にあたり、台風が襲来しやすい日とされています。

災害への備えを怠らないように、そして、関東大震災の教訓を忘れないように「防災の日」なのです。「防災の日」を契機として、あらゆる災害における防災対策を考えるとともに、身の回りの防災用品の準備、点検を行い非常に備えましょう。

■問い合わせ先

消防本部警防課
☎0869-22-1492